

第 500 回 大学院セミナー

共催：東京歯科大学ウェルビーイングプロジェクト

エナメル上皮から考える歯周組織再生と インプラントへの応用



演者 **原田 英光 教授**

岩手医科大学・解剖学講座
発生生物・再生医学分野

日時：2024 年 **4 月 23** 日 (火)

18:00~19:00 **本館13階 第2講義室**

口腔インプラント治療においてインプラント周囲粘膜炎あるいはインプラント周囲炎は、発症頻度が極めて高い疾患であり、その病因として粘膜貫通部の軟組織封鎖の脆弱性が上げられます。支持部分は骨と強固に結合していますが、粘膜貫通部は軟組織との十分な結合性を有していないために常に感染のリスクにさらされています。歯では、付着（接合）上皮による上皮性付着とセメント質とコラーゲン線維による結合組織性付着が口腔と生体内との閉鎖性を維持しています。本セミナー講師の岩手医科大学 原田英光教授は、接合上皮の発生やセメント質形成過程での歯原性上皮の役割に着目して、上皮性付着や結合組織性付着の再生に取り組んで来られました。本セミナーでは、特に歯の発生研究の理解を深めてもらうことを中心に、発生学的な視点からどのようにして軟組織封鎖を考えるかについてお話をいただきます。インプラントのみならず、臨床歯科医学の基礎となるセミナーです。奮ってご参加ください。

最近の代表論文

J Dent Res, 2024 (PMID: **38058147**)

J Periodontal Res, 2023 (PMID: **36517910**)

Scientific Reports, 2021 (PMID: **34211084**)

Development, 2021 (PMID: **33472844**)